第３回　４大学間「学生交流自主的・実践的研究プロジェクト」
研　究　成　果　発　表　会

３　　め　だ　か　の　学　校

発表者　：　城尾　朋美・浦口　亜弥さん

発表内容

題　目：　めだかの学校

研究者：　山口大学　農学部　生物資源環境科学科

城　尾　朋　美

「学生交流自主的・実践的研究プロジェクト」　　報告書

めだかの学校

報告者　城尾　朋美　山口大学　農学部　　生物資源環境科学科

補助者　浦口　亜弥　山口大学　経済学部　経済学科

目次

一、私たちの活動について

①　子どもイベント

②　田んぼの学校　おごおり

③　地域イベントの参加（アートフル山口、宇部まつり、平川まつり）

④　国際交流ひらかわ風の会

⑤　その他（山口市次世代育成支援についてのパブリックコメント、
ガンパルフォーラム 2005 参加）

二、イベント後の反省会について

三、地域の人の声

四、これからの活動について

一、私たちの活動について

①　子どもイベント

私たちめだかの学校が主催で行うイベント。今回は、5 月 16 日に蒸しケーキとブーメラン作り、スライム作り、ひもとり 6 月 27 日に巨大すごろく、12 月 12 日にドッジボールとふわふわフットベースボールを行った。2 月 19 日にそば打ち体験を行った。以下は、毎回イベントの度に書いている活動レポートの一部である。

子どもイベント

ドッチボール＆フワフワフットベースボール

日時：12 月 12 日（日）9 時～12 時
場所：平川小学校体育館
参加者：子ども 50 名

活動日誌：今回の子どもイベントは当初はそばうちを予定していたけど、休日で学校が使えないということもありドッチボールとふわふわフットベースボールをすることになった。朝早くからということだったが、子どもたちは朝っぱらから元気いっぱいだった。子どもたちが来て、いざ始めようと並ばせてチーム分けしようとしたが子ども５０人に対して大学生は 8 人。多勢に無勢であり、なかなか言うことを聞いてくれない。なんとか並ばせてドッチボールを始めたら、子どもたちが楽しそうにやっていたので嬉しかった。次にやるフットベースのため、説明書なるものを配ったわけだが、それを紙ヒコーキにして遊んでいる子どもが大勢いた。とても楽しそうに遊んでいるのはいいが、いざ始めようとしても少しも言うことを聞いてくれないのは少々困りものだ。最初はルールのわから

ない子どもも結構いて、少し不安だったけど、とても盛り上がっていたのでホッとした。その後は男の子は男の子だけ、女の子は女の子だけでドッチボールをしたが、これは特に女の子の反響が良く、実に楽しそうだった。確かに男の子と一緒よりもたくさんボールがまわってくるだろうし、積極的にできるのだろう。さて、みんな楽しそうにしているわけだが、なかには喧嘩をする子どももいた。本来なら大学生がすぐに止めに入るところだが、どうしても全員にまでは目が行き届かず、人数の少なさを痛感した。なかには泣いてしまう子どももいたが、最後には笑顔で帰ってくれて本当に良かった。私は泣いている子どもを前にしてなんと言えばよいかわからなかったが、先輩たちはすぐに優しい言葉をかけていた。さすが私の尊敬する先輩たちだと思う反面、自分はまだまだだと感じた。今回のイベントは思いっきり体を動かして遊んだわけだが、子どもたちには好評だったようであり、成功だろうとおもった。ただ、若干てまどった部分もあるのでそれは次回以降への反省材料としていきたい。私個人の感想としては、なかなか子どもたちが言うことを聞いてくれなかったのは少し苦労したが、子どもたちの笑顔をたくさん見ることが出来たので、とてもうれしかったです。

(経済学部　　2 年　　上西正樹)

② 田んぼの学校　おごおり

毎年、参加している団体。今年も、一年間参加させていただいた。年々、めだかの学校に対し、信頼を厚く寄せていただき、田んぼの学校内のイベントを一つ任されることもあった。責任ある立場に就くことにより、すごくやりがいを感じ、充実した活動だった。以下は活動レポートである。

めだかの採りの活動について

日時：平成 16 年 7 月 11 日（日）

場所：山口県小郡　田んぼ

目的：子ども達にめだか採りを体験してもらう

参加者：田んぼの学校おごおり　30 人

感想：

私は，初めてめだか採りに参加することもあって，この活動を楽しみにしていました。活動を行う場所は，以前からとても多くのめだかが生息する穴場ということでしたが，前日までの大雨の影響が心配されました。

田んぼの脇の用水路のような場所でめだか採りを行いました。思ったほど水かさも増しておらず，流れる水もすんでいました。絶滅が危惧されているめだかが本当にいるのか疑問でしたが，目を凝らしていると，すぐに群れになって泳ぐめだかを見つけることができました。子ども達もすぐに見つけたようで，網やバケツを使って器用にめだかを捕まえていました。なかには，めだか以外の生物や植物がメインになっているバケツもあり，思わず微笑んでしまいました。

前日までの雨の影響で，田んぼの周囲はだいぶぬかるんでいて，すぐに靴がどろどろになってしまいましたが，それも子ども時代が思い出されて楽しかったです。田んぼや用水路の周囲は，めだか以外の生物も本当にたくさん見ることができました。田んぼの生物に与える影響，果たす役割というのを改めて実感することができ，貴重な体験となりました。今回の活動に参加した子ども達も，同じことを感じ取ってくれたのではないかと思います。

最近では，子ども達の周囲にめだかがいるような自然環境はなくなりつつあります。このような体験は，子ども達も私たち大学生も，普段はなかなか行うことができません。
普段の「田んぼの学校　おごおり」での米作りや，今回のめだか採りなどの活動を通して，子ども達の自然を大切に思う気持ちがどんどん育っていっていると思います。また，私たちめだかの学校のメンバーの大学生も，同じことを感じて子ども達に負けないように成長しつつ，この先も長く活動のサポートをしていけたらと思います。

(教育学部　4 年　小庵恵奈)

③　地域イベントへの参加

昨年度も様々な団体からの依頼を受けて活動した。中には、もう何回も呼んでいただいている団体もあり、よい信頼関係を築いていっている。地域の方の熱意を大変感じ、私たち自身も進歩できる活動である。また、地域の方と接することにより交流を深め、私たち主催の子どもイベント等の活動の援護者となっていただいている部分もあり、地域と私たちめだかの学校の関係はいまや切っても切れないほどの関係である。今年度の話もいただいている団体もあり、これからも積極的に参加していきたい。ちなみに、昨年参加させていただいたイベントは以下のとおりである。

10 月 2，3 日　アートフル山口　　主催：アートフル山口実行委員会
11 月 3 日　宇部まつり　　主催：宇部観光コンベンション協会
11 月 7 日　クリーン作戦　　主催：青少年健全育成協議会
11 月 21 日　平川まつり　　主催：平川まつり実行委員会
11 月 23 日　注連縄作り　　主催：子ども会育成協議会
1 月 15 日　どんど焼き　　主催：子ども会育成協議会

めだかの学校の活動レポート
「しめ縄作り」

日時：　12 月 23 日(木・祝日)
場所：平川小学校　体育館

参加人数：子供・保護者；100 名程度、

今回、しめ縄作りに参加した。当日は、老人クラブの方が数名講師として参加し、子ども達はがんばって自分のしめ縄を作っていた。分からなかったり、うまく出来なかったときは、講師のお年寄りの方に聞いたりして、大変和やかに、わき合い合いと行っていた。中には、すごく器用な子がいて、本当に上手に作っていた。

また当日は、私も製作に参加したが、しめ縄づくりは実家で父は作っているのを見たことがあるので、作り方はなんとなく知っていたが、いざ作るとなると意外と難しくて、講師の方に聞きながら作った。

今回参加して思ったのが、見るだけでなくて、実際につくってみる大切さを知った。見るだけでは、なかなか習得できないということを身をもって感じた。だから、今回の活動のように子ども達に何か伝えるということに、実際にやってみるということを導入することは本当にすばらしく、また子ども達にも大きく響くのではないかと思った。次回の、めだかの学校の子どもイベントで、そば打ち作りの体験をさせるということを行うが、子ども達が次回の活動に参加することで何かを感じとってくれたらと思うのと同時に、できるだけの手伝いができたらと思う。

（経済学部　4 年　浦口亜弥）

④　国際交流ひらかわ風の会

昨年度から設立された留学生と地域の方との交流を深めることを目的としたもの。私たちめだかの学校は、ひらかわ風の会と共催という形で行っている。設立の段階から、めだかの学校のメンバーが役員として入り、活動を行っている。昨年度の活動としては､6 月 26 日アンニョンハセヨ「みんなで楽しもう！となりの国の打楽器と踊り」、8 月 13 日平川地域盆踊り、10 月 11 日大村益次郎の道ウォーク、10 月 17 日きらら物産交流フェアー、10 月 22 日交通安全マナー教室、1 月 23 日国際活動フェスティバル 2005 だった。これからも、活発な活動をやっていきたい。以下は、活動レポートである。

大村益次郎の道ウォーク

活動月日　10 月 11 日

内容：　10 月 11 日の体育の日、山口市の平川と鋳銭司を結ぶ鎧ヶ峠を越えて、21 世紀の松下村塾、セミナーパークへ徒歩で向かうという活動に参加した。今回は「山口県人づくり財団」の企画した活動に、私たちがサポーターとして進行をお手伝いする形の活動だった。普段、めだかの学校の活動では子どもと接する活動が多いのだが、今回の活動は、下は小学生から上は 70 歳以上の高齢者までと、幅広い年齢層

の人が参加していた。平川小をスタート地点とし、途中の山道では案内役の方がリタイヤするほど、かなり険しい道もあった。休憩所では湯豆腐やお茶を無料で提供していただいた。平川小を出発してから、大村益次郎旧宅跡を経て、ゴール地点に着くまでに約 12.5km の距離があった。

感想：　日ごろあまり運動する機会がなく、なかなかハードな道のりを行く事ができ、疲れたがとても貴重な体験ができたと思う。今回は子どもの参加が少なく、子どものサポート役として参加するものと思っていたので、大人の方の参加人数の多さに少し驚いた。私自身でさえ、険しいと思われる道も幾度かあり、途中ではロープを使わなければ降りられないような場所もあった。しかし私の祖父母以上の年齢の方でも、最後まで元気に歩ききられていた。後で考えてみると、長い道のりであったが同じ 1 年の友達や 4 年生の先輩と話をしながら歩いたり、今回の活動で知り合ったおばさんに大村益次郎の話しを教えてもらっている間にゴール地点までに到着したのであっという間だった気がする。また、大村益次郎の好物だったということで食べさせていただいた湯豆腐は、とてもおいしかった。セミナーパークでは短い時間ではあったが、建物の中を案内してもらえた。実際に車椅子に乗せてもらったり、介護用のゼリー状の食べ物を食べさせていただくなど、とても勉強になった。

（　経済学部　2 年　松本泰典　）

二、イベント後の反省会について

めだかの学校主催の子どもイベントをもっとよりよくするために、昨年度から反省会をすることになった。また、子どもに対してアンケートも昨年度から実施し、このことも反省会でまじえながら行っている。アンケートについてだが、今年度は保護者の方や学校の方にもアンケートを取れるようにしていきたいと考えている。

三、地域の人の声

＊芳西　広二さん　　（平川地区子ども会育成協議会　会長）

学生生活の中で、勉強として地域とふれあって、勉強だけでなく地域のことがわかる人に。社会勉強してほしい。そして、将来に役立ててほしい。

＊溝岡　和美さん　　（平川地区子ども会育成協議会　副会長）

子供たちにいろいろな人とふれ合って成長してほしい。古くからの伝統も経験させたい。

＊佐田　政弘さん　　（平川地区子ども会育成協議会　副会長）

自分達が子どもの頃に、経験してきたいろんな事を今の子ども達に接する中で伝えていってほしい。地域と関わる中で、いろんな経験してほしいし、いろいろ子ども達に教えて

あげていってほしい。

＊松永　和生さん　　（平川地区子ども会育成協議会　副会長）
幼稚園から大学（大学院）まで平川地区にあって、山口大学のめだかの学校の学生が地域の行事に積極的に参加し、またお手伝い頂くことは、逆の立場（子供の父の立場）としては、さまざまな形で刺激を受け、これからも継承していかなければならないと思います。子ども会としては、今後とも地区に行事において協力をお願いしたいと思います。

＊阿座上　裕さん　　（平川地区子ども会育成協議会　体育部理事長）
めだかの学校は、これからも地域にどんどん参加していって欲しい。球技大会はよかった！！子どもにとって大学生との出会いは財産。地元の大学が地域に貢献することはとても大事。地域の伝統行事の継承は田舎でもされていない。

＊坂本　泰久さん　　（平川地区子ども会育成協議会　顧問　）
山大めだかの学校さん。いつもありがとうございます。
君達の若い力で、平川地区も変わってきています。古い概念を捨て、益々発展していく過程の中で、皆さんの力は必要です。同じ地域に住み、生活するもの同志、一緒に頑張っていくことができれば最高です。年齢は関係ありません。同じ人間として、一個人として、力を合わせて生活を大いに楽しみましょう。

＊中村　光宏さん　　（平川小学校　PTA 会長）
地域でいろいろな経験をして、将来のヒントにしていってほしい。

＊岡　孝則さん　　（山口県農林部農村整備課　技術管理班　主査）
（山口県ペルー協会事務局スタッフ L）
（国際交流ひらかわ風の会　事務局長）
めだかの学校は、地域を大切にするという前学長の考えから生まれたもの。めだかの存在によって、地域の人々の山大生の見方もだいぶ変わってきた。これからも地域の人に積極的に参加してほしい。

＊難波　未佐男さん　　（県職員　ペルー協会理事）
山口に来たのも何かの縁。たくさん地域にかかわって、山口らしさをいかして、山口に就職してもらいたい。若い人はたくさんの可能性を持っているのだから、それを生かしてほしい。

＊長見　正義さん　　（国際交流ひらかわ風の会　副会長）

（西京高校ＰＴＡ会長）

めでたいな

大学生と関わるの

感心しながら地域活動。

大学生と関わりあうことで新しい活動が出来ているなと感じ、

これからもそういう活動をしていきたい。

四、これからの活動について

１）めだかの学校

①アンケートと反省会の充実

②地域の方との意見交換への試み

③アートフル山口企画・運営から参加（4 月から）

２）国際交流ひらかわ風の会の活動等々について

① 生活安全教室事業

第 1 回目・・・テーマ：第 1 回　平川ってどんな所・交通マナー・火の用心教室

平成 17 年 4 月上旬

第 2 回目・・・テーマ：第 2 回　平川ってどんな所・交通マナー・火の用心教室

平成 17 年 10 月上旬　（山大の中で）

② 地域行事参加交流事業

第 1 回目・・・テーマ：清掃ボランティアへの参加

平成 17 年 6 月上旬、11 月上旬

第 2 回目・・・テーマ：子ども達との川遊び参加

平成 17 年 8 月上旬

第 3 回目・・・テーマ：平川地区盆踊り（白河おどり）への参加

平成 17 年 8 月第二土曜

第 4 回目・・・テーマ：平川地区民運動会への参加

平成 17 年 10 月上旬

第 5 回目・・・テーマ：平川まつりへの参加

平成 17 年 11 月第三日曜

第 6 回目・・・テーマ：地域交流会（地元のお年寄りとの交流）

もちつき大会や留学生たちのかくし芸大会等

平成 17 年 12 月上旬

その他　・・・どんど焼き、歴史の道ウォーキング参加など

随時参加要請

③ 学校交流事業

第 1 回目・・・テーマ：平川小学校との交流プログラム

・アメリカ教員グループの受け入れと交流会（10 泊）
地元平川小学校訪問による授業参観・交流会・懇談会
平成 17 年 6 月上旬

第 2 回目・・・テーマ：韓国の子ども達との交流会
（特に韓国の留学生）
平成 18 年 2 月上旬

④ ホストファミリー展開事業

（1） 留学生対象のホーム・ビジット（土曜の午後から夜）
平成 17 年 7 月～8 月

（2） ショート・ホームスティ（1 泊 2 日）
平成 17 年 10 月～12 月（運動会等と連動）

3）地域イベントの参加